

サロン活動の開催に関するアンケート調査結果（速報）

1 アンケート調査の実施概要

(1) 名 称 サロン活動の開催に関するアンケート調査

(2) 目 的

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったサロンがある中で、現在のサロン活動の状況を把握し、今後のサロン活動の推進方法を検討することや各サロンでの工夫した取り組み内容を確認し市内のサロンで情報共有を行い、よりよいサロン活動の実施を進めるため。

(3) 調査主体 社会福祉法人高崎市社会福祉協議会

(4) 依頼先

令和2年度高崎市社会福祉協議会が把握する高齢者サロン・子育てサロン430カ所へ依頼

(5) 送付方法 郵送

(6) 送付書類 ①依頼文

②サロン活動の開催に関するアンケート調査票

(7) 回収方法 返信用封筒

(8) 回収期日 令和2年11月30日（月）

(9) 回答率 94.4%

430カ所のサロンに依頼し、406カ所のサロンからの回答を集計

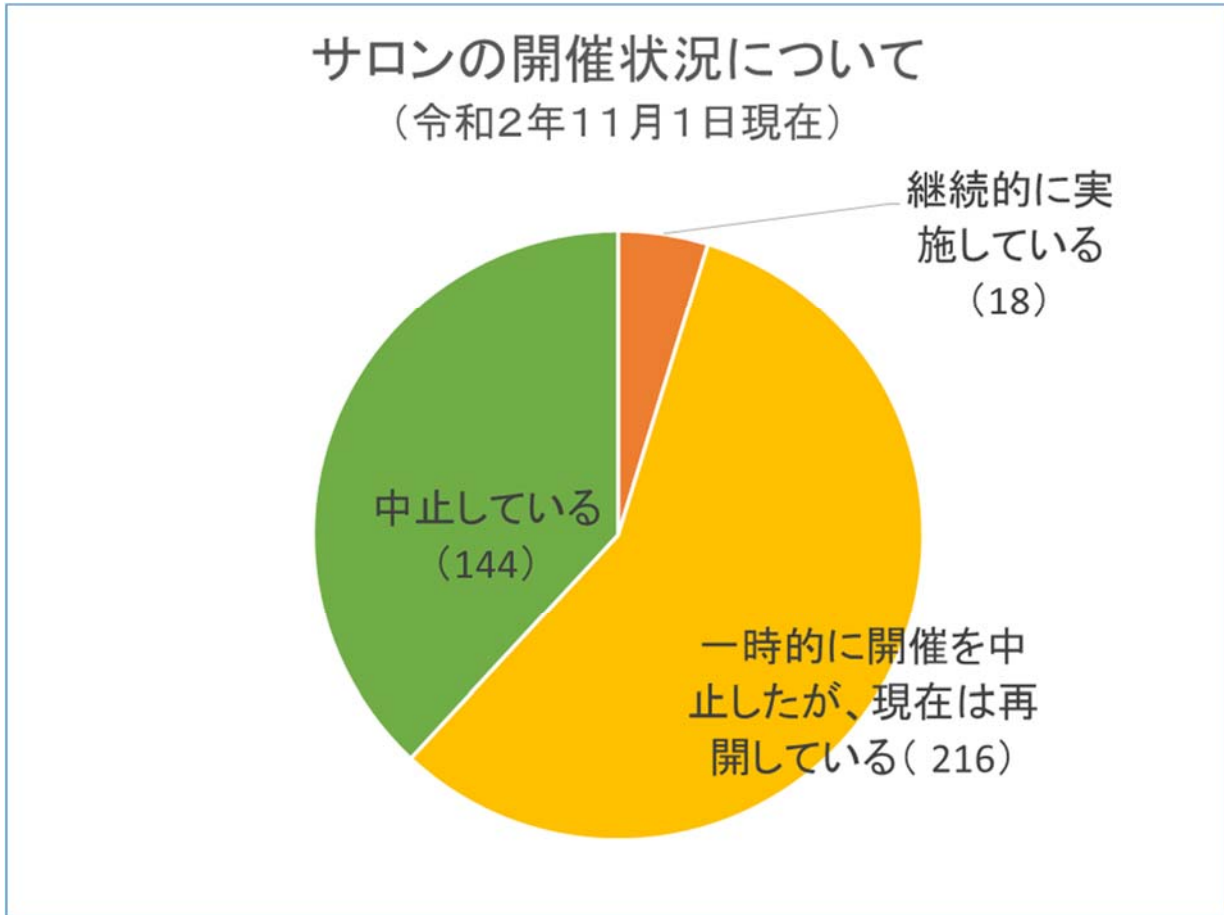
内訳 高齢者サロン 378カ所

子育てサロン 28カ所

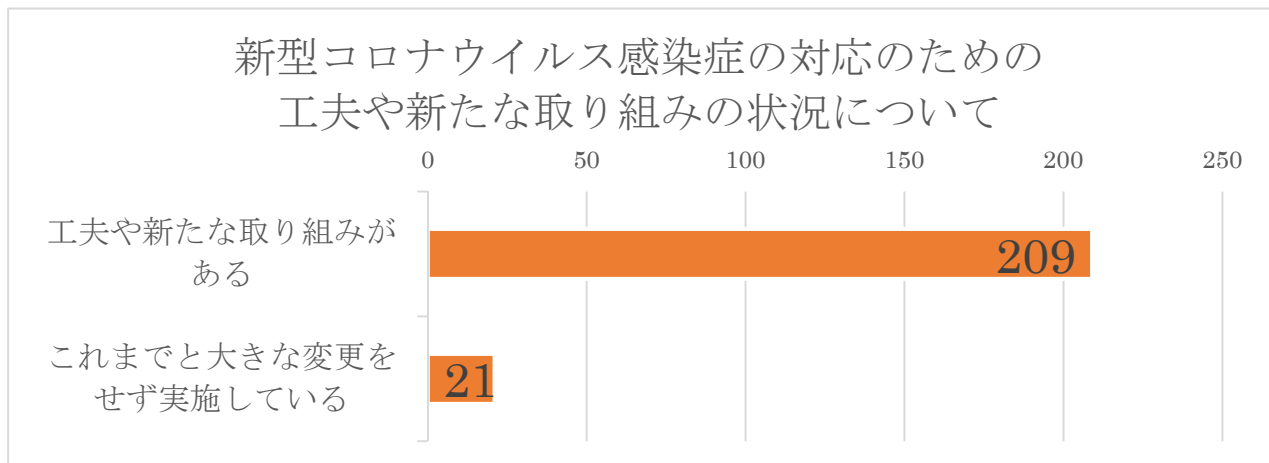
2 アンケート調査結果

ふれあい・いきいきサロン（高齢者サロン）

設問1 令和2年11月1日現在のサロンの開催状況について教えてください。



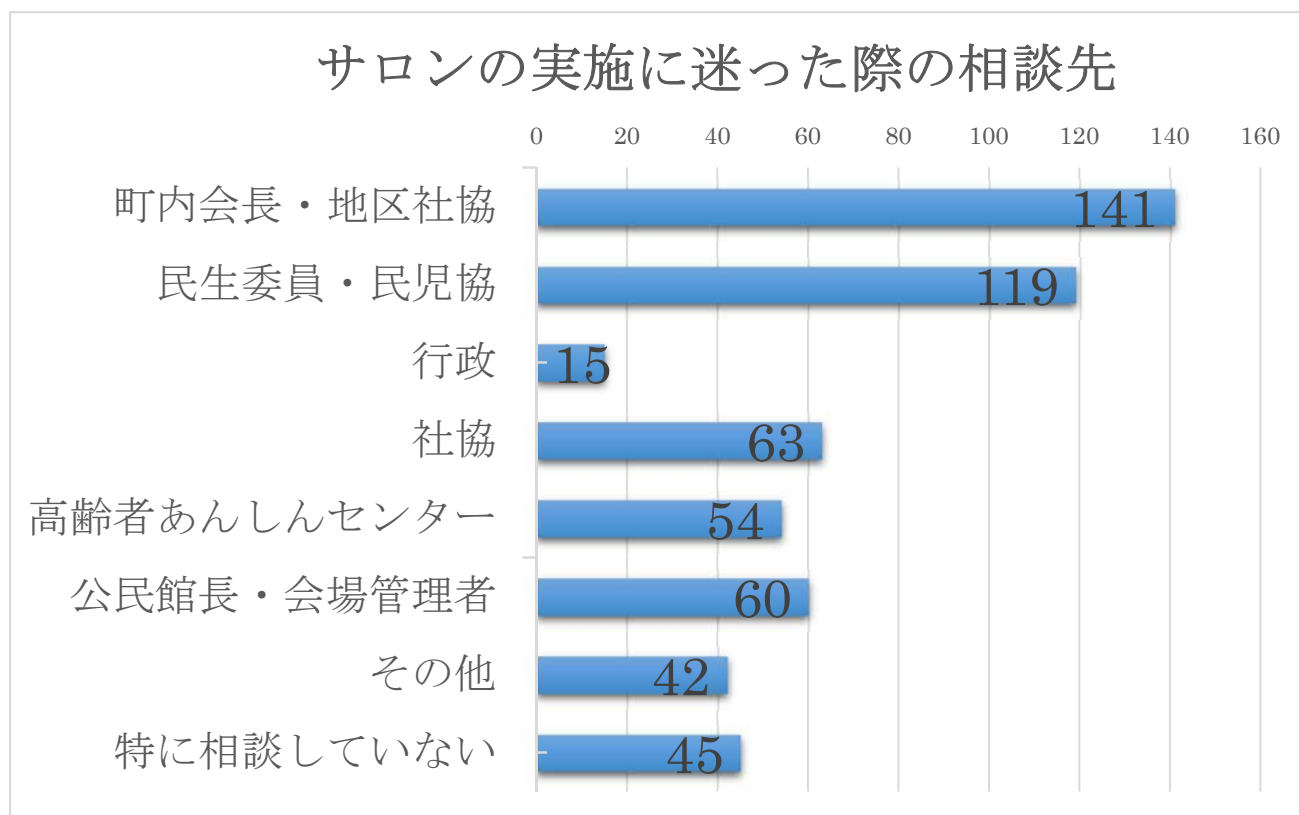
設問2 現在サロン活動を行うにあたり、工夫していること、新たに始めた取り組みなどについて教えてください。



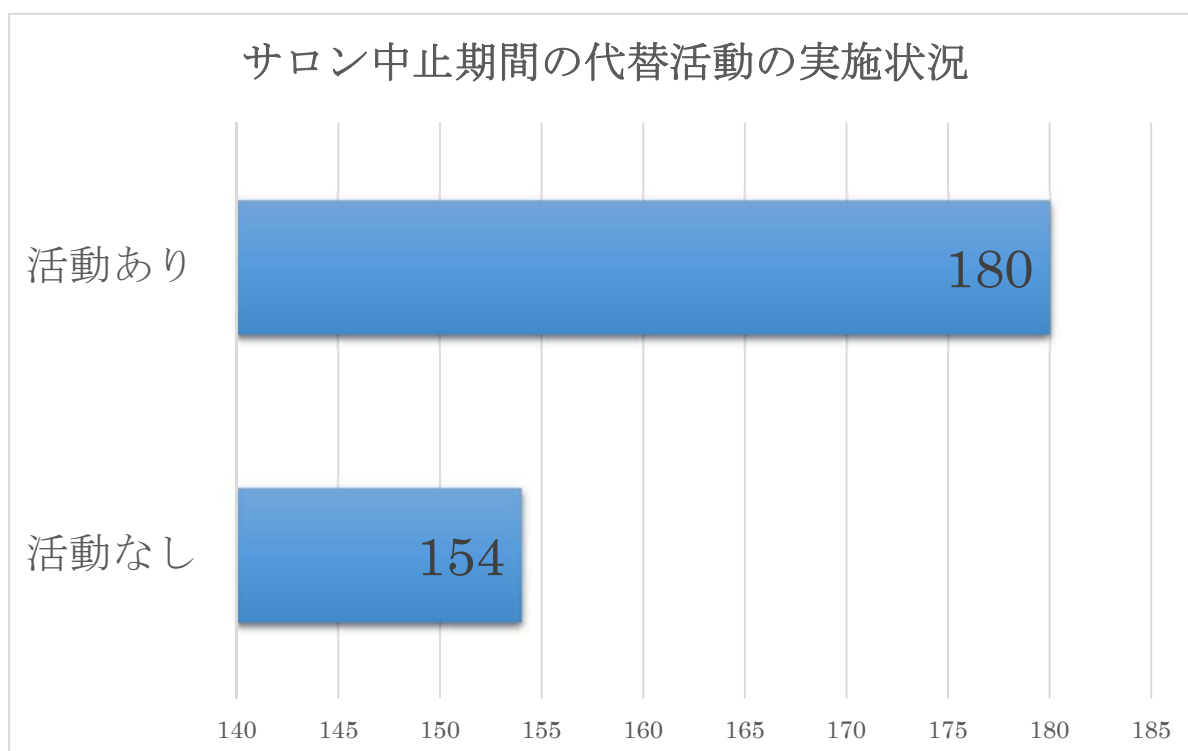
【取り組み事例】

- ・マスク着用、会場への入館時等の検温、手指消毒の徹底、会場の換気を行う。
- ・非接触型体温計の購入、消毒液の購入・設置。
- ・ドアノブなど会場内の接触の多い箇所の消毒。
- ・健康状態申告書により、参加者の健康状態の把握を行う。健康チェック表を使用している。
- ・対面を避ける、間隔を取るかたちへ会場のレイアウト（机、いすの位置）を変更。
- ・公民館で暖房を入れ、南北の窓を少し開け、テーブルをなくし座布団のみで間隔をあけ、民話を聞いた。
- ・会場内の密を避けるために参加者の人数制限を行う。
- ・これまでの会場より広いフロアへ会場を変更
- ・2部制で実施し、密を避ける。
- ・時間を短縮して開催。
- ・サロンからのクリスマスプレゼントを、会場へ参加者が時間をずらして受取にきてもらう。
- ・スルー方式（会場に留まらずに）で、記念品等を手渡しするかたちで、9月に敬老会を実施しました。公園内でテント・藤棚の下で30分程度会話する時間を設け、参加者は喜んでいました。12月のクリスマスでも同様の方式でやりたいと思います。
- ・テーブルを使わずに、椅子に座ってできるゲーム等を行っている。
- ・座位のままできる手・足の軽い運動を行っている。
- ・食事は、市販の弁当をお渡しし、持ち帰っていただいている。
- ・お茶菓子は、個別に袋に入れてお渡しする。
- ・急須でのお茶出しをペットボトルへ変更。
- ・各自にお茶などの飲み物を持参してもらうように変更。
- ・歌を歌う活動などは、休止し、大声を控えるようにしている。マスク着用で、小声で歌う。
- ・体操の内容を減らして、脳トレを増やして行っている。
- ・会場の庭や近隣の公園など屋外へサロン会場を変更した。
- ・屋外での活動内容としてポッチャ、花壇の管理・鑑賞を行った。
- ・屋外でのラジオ体操に内容を変更した。
- ・（中止していたが）自分たちの住む町の中でゴミや缶が落ちているのを拾ったりする外での活動とした。
- ・地区内で感染者が発生した場合は、中止することとしている。
- ・自宅でも楽しめることを、と考え手作りのぬり絵カレンダーとお菓子を毎月サロン予定日に配っています。体調や生活の様子をボランティアさんとともに訪問し、お話をお聞きしています。
- ・定例開催のサロンとは別に少人数でのミニサロンを月初に開催している。
- ・サロンの内容を（楽器）演奏会、落語会、講話などで実施した。

設問3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、サロンの実施に迷った際にどこか関係機関等へ相談をしましたか？（複数回答可）



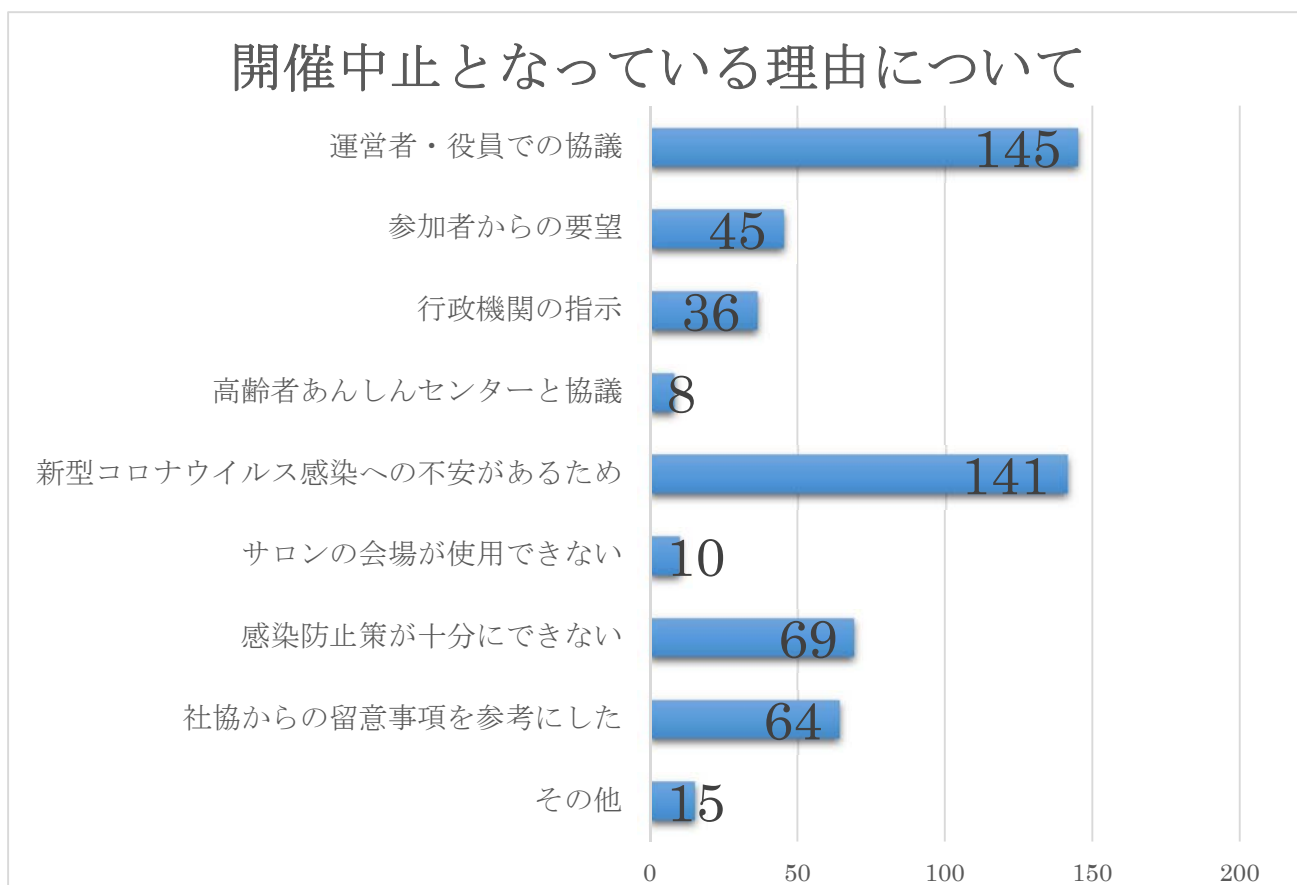
設問4 サロンを中止している、または、一時的に中止したサロンにお聞きします。中止期間にサロン実施に代わる取り組みとして何か活動を行いましたか？



【取り組み事例】

- ・見守り活動によって会員の様子を見回り、またご意見等をお聞きしたり、コロナ対策についてお話をしたりした。電話による、健康状態の把握。
- ・粗品（季節物、マスクなど）の配布、サロン中止のお知らせの配布、運営者による声かけ。
- ・月1回手紙、自宅で取り組める資料（ぬり絵・間違い探し、体操、音読・早口言葉など口腔機能アップ、認知症予防、感染予防の取り組みなど）を配布や実施を記録するためのカレンダーもあわせて作成した。
- ・会報を参加者へ配布し、再開に向けた検討状況や新型コロナの感染予防の内容などの発信を行って、会えない間のつながりを絶やさないようにしている。
- ・万が一、新型コロナウイルス感染症に罹患した際の対応を資料にまとめて配布。
- ・屋外でできる活動として、希望者でラジオ体操を始めた。
- ・参加者へ折り紙を配布し、コロナ終息を願い（各自で）折り鶴を作り、サロン会場へ飾る。
- ・参加者の誕生日・誕生月にささやかなプレゼントを持って訪問。
- ・サロン以外の屋外活動への参加呼びかけを行う（ウォーキング、グラウンドゴルフなど）
- ・定期的に役員等で実施に向けた検討を行う。（毎月1回、2ヶ月に1回など）
- ・お弁当を取りに来ていただくように案内し、短時間でも参加者が顔を合わせられる機会を設けた。
- ・フレイル予防のために筋トレ教室を開催した。
- ・通常のサロンの実施ではなく、干支づくりのみをしました。
- ・高崎健康福祉大学の篠原先生のフレイルにならないためのアンケートを実施した。また、高齢者が自宅で取り組める体操の資料、アンケート結果を配布した。

設問5 現在、開催を中止しているサロンにお聞きします。中止となっている理由について教えてください。(複数回答可)



設問6 現在、サロンを運営するにあたり生じている困りごとなどがありましたら教えてください。また、活動を再開できていないサロンについては、再開するにあたり必要と思われることがありましたら教えてください。(自由記述)

【回答】(一部抜粋)

◎困りごと

- ・外部の方を呼んでの講話、鑑賞会ができない。
- ・新型コロナ感染予防を考慮すると、内容が単調なものになってしまう。
- ・高崎のどの地域でコロナ感染が発生しているのか情報が少なくサロン開催の可否に悩む。
サロンで患者が出た場合代表の責任が重いので、社協から開催基準を指示願いたい。
- ・会場が狭いため、ソーシャルディスタンスをとることができない。活動再開は、コロナの心配がなくなってからと考えている。
- ・より広い会場等への変更もできない。(場所がない、脚の悪い人が多いなど)
- ・万が一、サロンを開催して感染者が発生した際の責任が取れないため実施できない。
- ・出前講座などで講師を呼ぶ企画を予定していたが、それらができなくなってしまい、自分たちで他の内容を考えることが負担。

- ・消毒等のために、準備・片付けに時間がかかる。
- ・お年寄りなので、必ず机とイスが必要となり、アクリル板等がないと全員が接しないように座れない、また従来の様子から会員相互が近づきすぎないでいられるか、大声での会話を控えてもらえるか、運営者の注意を聞いていただけるかが不安で、積極的に再開することはできない。
- ・中止、再開の判断基準があいまいで難しい。県の警戒度が下がらないと実施はできない。
- ・中止の判断をするにあたり、責任者・代表者の判断で行うので非常に迷います。区長等に相談しますがお互い自信をもって判断できない状況です。いろいろな条件があるサロンがあると思いますが、判断基準が明確にあると助かります。
- ・寒くなった時期の換気をどうすればいいのか。
- ・歌を歌うことができない。ふれあい（手をつなぐなど）ができない。
- ・マスクをしているために、参加者の表情がわからない。
- ・サロンの内容に困っています。体調を優先していただき、出席を強く勧めることを控えているため人数の把握がしづらくなっています。
- ・会員が高齢のため、新型コロナが終息までにならなくとも収束したらと思っています。しかし、これからの時期は更に増加する心配があるとの報道等を考えるといつ再開できるかどうかの目途は立っていません。
- ・現在ボランティア4名、民生委員と月2回行っていますが、若いボランティアの方がなかなか見つからず大変です。
- ・家族にコロナが感染することに大変不安を感じていて、ワクチンができるまで不参加と言っている方も多く、これから先の運営はどのようにしたら良いのか難しい問題です。
- ・会員が高齢化しているため外出できない、人とも会えない状況で認知症等が進行すること。
- ・コロナに対する考えはそれぞれ違うので安心であると思わない方は参加していない。情報の捉え方で仕方ないと思う。

◎再開にあたり必要と思われること

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が終息する、有効な治療法やワクチンの開発、感染者が少なくなるなどの状態にならないと再開できない。
- ・3密の回避を考慮し、1 m～2 m離れると声が聞こえない。参加者はおしゃべりしながらお茶会や食事会をしたい。再開に不安を感じている人がいる。感染症対策について皆で話し合い、わかりやすく周知していくことが安心して参加できることにつながると思う。
- ・来年の1月～3月は再開したい声があるが、他の組織、団体などの行事がすべて中止している中でサロンだけ実施することは、理解が得られない。

設問7 サロン活動を行って良かった点、他のサロンに紹介したい事例などがありましたら教えてください。

【回答】(一部抜粋)

◎コロナ禍での活動に関して

- ・サロンを再開した際に、皆さんからコロナ禍での生活の様子を聞いたら、人と会う大切さ、会話をできる喜び等サロンの大切さを話す方々が多くいた。地域に根付いていることを感じた。
- ・(出前講座などの)講師をお願いできなくなり、会員同士で披露しあう内容にした。だしものは、香袋作り、お話、簡単体操など。これまで、聞き役だった方々の協力と理解で皆喜んだ。
- ・(2部制にした結果)1回の人数を減らしたので、参加者一人一人によく目が届くようになった。
- ・天気の良い日、町内で菊づくりをしているお宅に伺って、盆栽菊をみせていただいたり、庭の菊を鑑賞した。区長さんの庭に青空カフェができるスペースを作り、外でお茶会ができた。
- ・コロナ禍で地域の方々とお話する機会が少なくなったり体を動かさず家の中にいるのでフレイルに陥っていると言われていたので、コロナ対策をしっかりと(サロンを)始めました。皆が元気であることを確かめ合ったりされています。
- ・コロナ禍中でありながら、サロンを再開した理由は家族にも外出を注意されたり、行けるところは病院だけ人とも会えず、うつになりそうという高齢者の声をあちこちでため息とともに耳に入ってきたからです。様々な人に相談し、アドバイスを受け協力をお願いし、広い場所の確保、ボランティアの働きで予防対策ができサロンを行うことができました。
- ・それぞれの方が今の生活や心配事などを紹介し、同じようなことを感じ、共感され、自分だけがもどかしい、はがゆい思いをしているのではないと安心した様でした。互いに励まし合っています。
- ・サロンに出かけることが自分自身の運動になっていたんだとつくづく感じています。

◎これまでサロンを実施してきた中でのことに関して

- ・地域内の市公民館や他の団体との交流ができた。
- ・月1回のサロンを楽しみにしていて、会員さんにとって、皆と顔を合わせられることがとても嬉しい、元気になるといっていています。
- ・参加者の方から「楽しかったよ」「またしてね」と声をかけて帰って行かれるとサロンをがんばって開いて良かったと思う。
- ・認知症になっても顔見知りの多くいる地域でサロンにも参加して元気に生活されているのが我々の希望となっています。ご家族のケアが良いからと思います。住み慣れた地域でずっと暮らしていけたらと思います。
- ・地域の方たちとの和ができたと思います。やはり、ささえあい、絆はとても大切な事と思いました。

- ・嫁いでも勤めていたため、地区との交流も少なかったのですがサロン活動に参加し、皆様とも顔見知りになり声をかけて頂いたり、年賀状を頂いたり楽しみが増えました。
- ・地域のお年寄りの方々と親しくなれ、近況もわかるようになりました。
- ・地区内の住民同士の交流に役立っていると思う。
- ・一人暮らしの方の安否確認ができる。高齢者あんしんセンターの方が参加してくれる回は、いろいろな相談ができる。
- ・家からでることにより声を出したりおしゃれをしたりと社会とつながる。
- ・人生の大先輩の生き方を直に聞くことができ学ばせてもらった。

◎紹介したい事例

- ・バトン体操、折り紙、ぬり絵、イントロ曲当てクイズ、ビンゴなどおしゃべり以外の活動を毎回取り入れている。折り紙などは指先が不自由で苦手な人もいるのでペアを組んで行うようにしている。
- ・紙芝居をテレビモニター画面に映して、音声を録音したものを流した。大声を出さずに行うことができる。
- ・地域の子ども達と高齢者の交流、地区内にある介護施設の方々との交流等サロンを通じて広い意味での人との交流を図った。
- ・軽スポーツ（ペタンク、スマイルボウリング等）団体戦ですが、チームが力を合わせて夢中になって取り組んでいます。年齢を重ねても勝負にはこだわりがあるようです。
- ・回覧板で参加者を募りますが、通常ですとぜひ参加してくださいとしますが、現在は、本人または家族が不安を感じる方はお休みくださいとしております。
- ・12月のサロンで行っているお正月飾りがとても好評です。（しめ縄作りや正月飾り作り）
- ・ポーラ化粧品の協力でメイク教室をやった時は、参加前は今さらこんな年寄りが化粧して色気づいてもと参加意欲がない方が何名かいらっしゃいましたが、それぞれ鏡の前でみるみる変身していく姿に満足し、プロの方のテクニックやお直しをしてもらったあとにはそれぞれがほめ合って、このまま家に帰るだけではもったいないとかなり盛り上がりました。
- ・レクレーションゲーム、ラフター（笑い）ヨガはストレス解消になり家族の介護に携わっている人に人気があった。
- ・群馬ヤクルトの健康教室は免疫力を高める食事講習でわかりやすかった。
- ・会費100円は負担にならず、茶菓のサービスも受けやすいと思われる。
- ・サロン開催後、写真付きの報告（次回の案内も記載）を1～2日後に配布し、ファイルしてもらうようにしている。

設問8 サロン活動を行っていく中で、参加者の方から寄せられた意見や運営するうえで感じていることなどがありましたら教えてください。

【回答】(一部抜粋)

◎参加者から寄せられた意見等

- ・(コロナ禍でサロンが中止となり)人と会えないことがつらいとの声があった。
- ・サロンが開催されることで、開催場所まで歩くので気持ちが良い。
- ・友達の顔がみられてありがたい。
- ・いろんな話ができて、それだけで良い。
- ・家で自分一人だとなかなか体操できないけど、公民館へ来てみんなで体操すると楽しくできる。
- ・体操することでひざの痛みが良くなり少しずつ畑に行くことができると話しています。
- ・参加者より「サロンは本当に楽しいよ！また来るね」と言ってくださるとサロン運営者は嬉しいです。また、その方々が近所の方を連れてきてくださる。参加者に誘われるのが一番いいのかなと思いました。
- ・(コロナ禍での)サロン参加者の意見は、コロナ対策をしても無症状の方が多いので本当に安全が確認できるまでは開催中止が安心ですという意見が多かったです。
- ・ボランティア団体を招いて楽しませてもらうといった活動よりも顔見知りの皆さんとお互いの健康を確認しあったり、ただ会話を楽しみたいと考えている方が多いということ。気軽に寄って楽しい時間を共有できる雰囲気づくりに力を入れていきたいと思う。

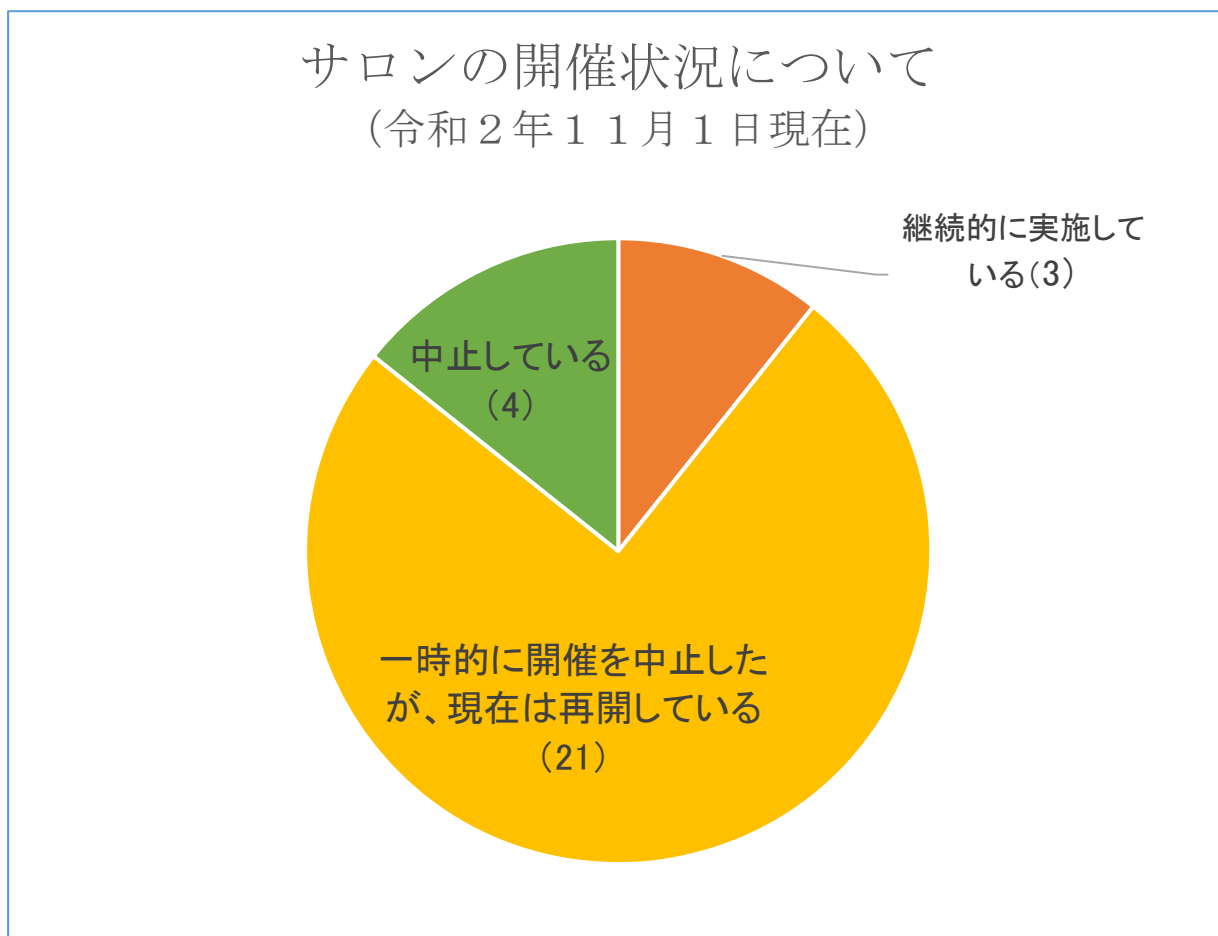
◎運営する上で感じていること等

- ・参加者からはサロンをやってほしいという意見がある反面、感染のリスクから「サロン中止」はやむを得ないという意見もあった。
- ・80歳以上の高齢者が多数を占める今の現状では、「サロン中止」が最も良い選択と考えている。
- ・楽しいおしゃべりを期待するが感染経路が不明なコロナ感染を考えると「今しばらくの辛抱が必要と思われる」との意見が多数のため休止はやむを得ない。感染者が出た時の責任を取り切れない。
- ・コロナ禍が始まる以前にいつも来ていたみなさんの中には再開しても不参加の方々もいます。サロンは高齢者の方が対象ですから何かあったら困ると不安になったり、人が多く集まる場所にはなるべく行かないようように決めていらっしゃる方もたくさんいます。こういった意見を直接聞く一方、サロン再開に喜んでくださる方々も多くいらっしゃいます。
- ・家にいる時間が多くなったので、転んでけがをした人が数人でてしまいました。
- ・コロナ感染の中活動していくのは心配や不安がありますが、行動をしなければ何もできません。会員の皆さまとよく話し合いながら色々な事に挑戦していきたいと思っています。
- ・もしもの事態を考えると安易にサロン活動を実施しようとは言えない。参加者の多くはリスクはできるだけ避けたいとの意見が多いようです。

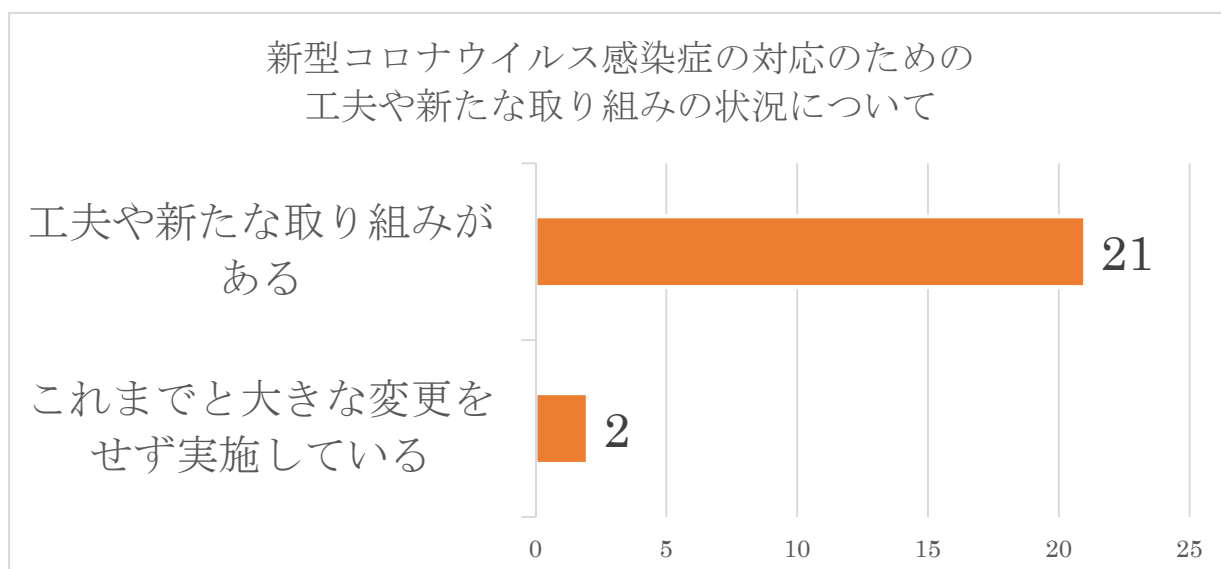
- (課題として) 天候が悪い場合の高齢者の行き来が不安。雨の日等で参加したいけど参加できない。
- 新型コロナウイルスの感染を恐れ、外出を控えていたため、いざサロンが始まっても家から出るのが億劫になり、参加者が集まるか(不安がある)。また、スタッフ(ボランティア)がなかなか増えない。
- 参加者の横のつながりができ、サロン以外でも家へ訪問したりすることができたそうです。
- 後任の役員がみつからない。
- サロンを実施するにあたり回覧の作成、書類の作成が大変だったり、何をするのかを決めるのが大変。
- コロナ感染症につきましては人それぞれお考えがありまして、最初は全員の出席は無理かと思えます。ご自分の健康と安全の管理意識のもてる方から始めて徐々に再開ができると良いと思っています。
- これからは、公民館の玄関と庭で工夫しながら行うことも考えています。同じ時間に散歩しながら1つの場所に集まるだけでも楽しいようです。
- 今月は何を来月は何をではなく、顔が見えることの安心を一番感じます。
- 芸能ボランティアなどは、内容を紹介する映像などがあると、どの団体にお願いするかを決めるときに大変助かります。

ふれあい・子育てサロン（子育てサロン）

設問1 令和2年11月1日現在のサロンの開催状況について教えてください。



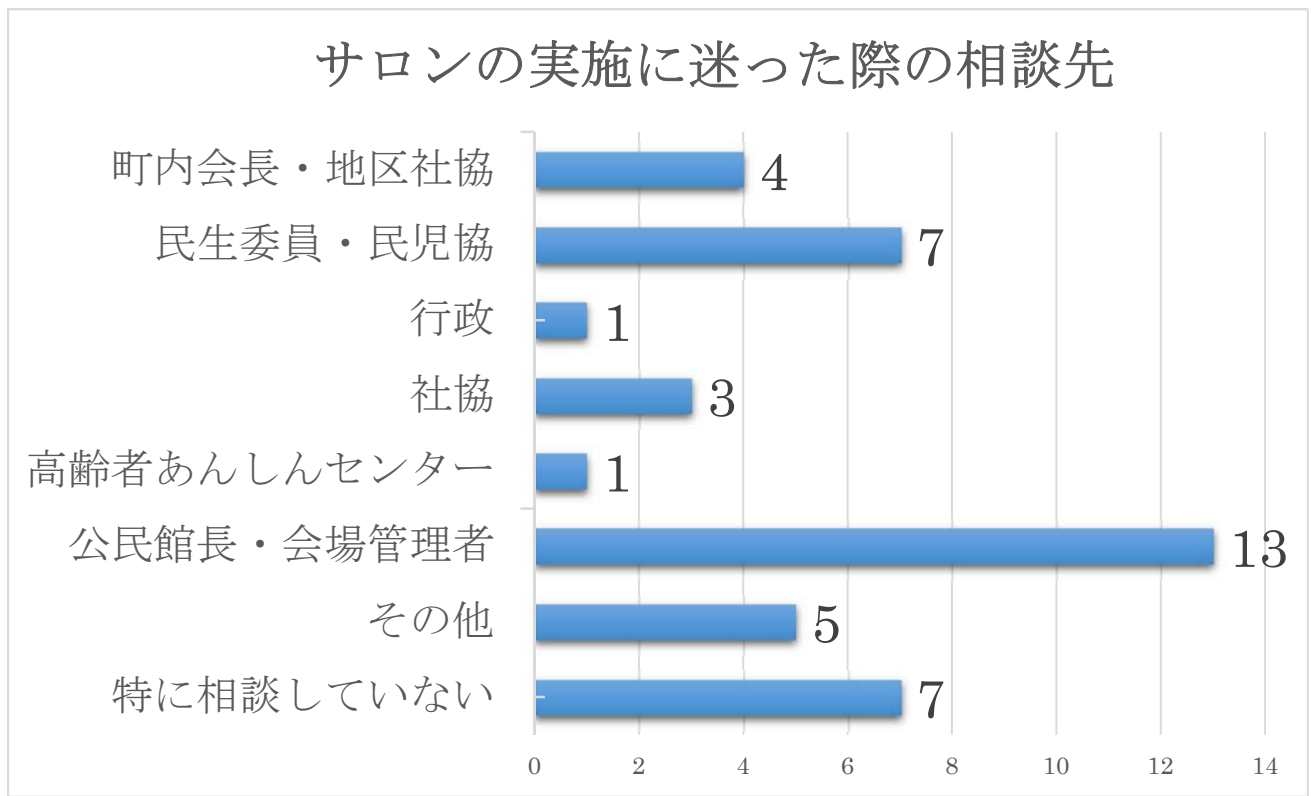
設問2 現在サロン活動を行うにあたり、工夫していること、新たに始めた取り組みなどについて教えてください。



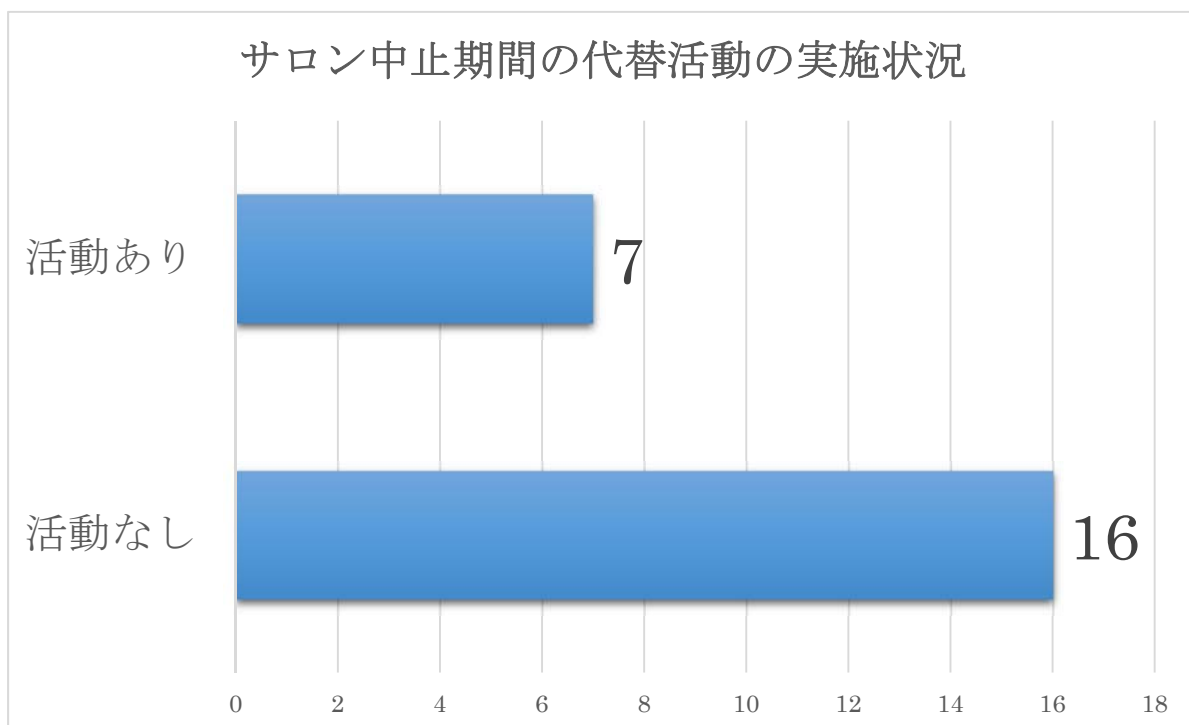
【取り組み事例】

- ・暑くても寒くても冷暖房機を使いながら窓を対角線上に開ける。
- ・検温、手指の消毒、床の消毒、おもちゃの消毒、トイレの消毒の徹底。
- ・他人と接触する遊びは中止。
- ・参加人数を制限したり、2週続けての参加を遠慮していただいたり、密にならないような内容の工夫のほか、受付での検温や連絡先を記入してもらう用紙を準備したり、マスク着用や手洗い、消毒の徹底を呼び掛けたり、使用した遊具なども消毒を行っている。また、おやつはその場で食べずに、持ち帰ってもらっている。
- ・母親は公民館の中でマスクをはずすことなく子育てについての話をし、子どもたちは6年生が小さい子を見守りながら、近くの道木ふれあい公園で遊ぶ。(遊具がないのでケガの原因が少ない)
- ・ヨガはオンラインでの開催を行った。(現在は、対面に戻りました。)
- ・遊びの内容を(密にならないように)工夫して行った。
- ・換気に気をつけて、おもちゃの消毒、参加者全員の住所確認、検温をしています。できるだけおもちゃを広範囲に広げ、子どもたちが間隔をとって遊べるようにしています。
- ・健康チェック表作成、消毒と体温計の購入、マスク着用の徹底など感染対策をしています。
- ・10組の親子に限定し、参加は予約制とした。(ソーシャルディスタンス確保のため)
- ・12月はいつもクリスマス会ということでたくさんの親子が遊びに来てくれましたが、今回は定員(6組)を設けて申し込み制としました。
- ・zoomでの事前会議。屋外に会場を変更し、公園遊びを中心に実施している。
- ・少しでも体調のすぐれない方は欠席してもらい、飲食はしない。
- ・メンバーをグループに分けて少人数で行っています。(4グループにわけて、①②グループ、次の会は①③グループなどサークルメンバー全員と顔をあわせできるようにしています。)
- ・子どもたちが共有して使用するおもちゃなどは使わず、体を使っての運動を中心に活動。消毒を必ずする。
- ・参加者は事前にサロン会場へ連絡し、人数制限をして活動している。
- ・2部制で実施。出欠確認アプリを会員に登録してもらい、1回の参加人数を調整した。

設問3 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、サロンの実施に迷った際にどこか関係機関等へ相談をしましたか？（複数回答可）



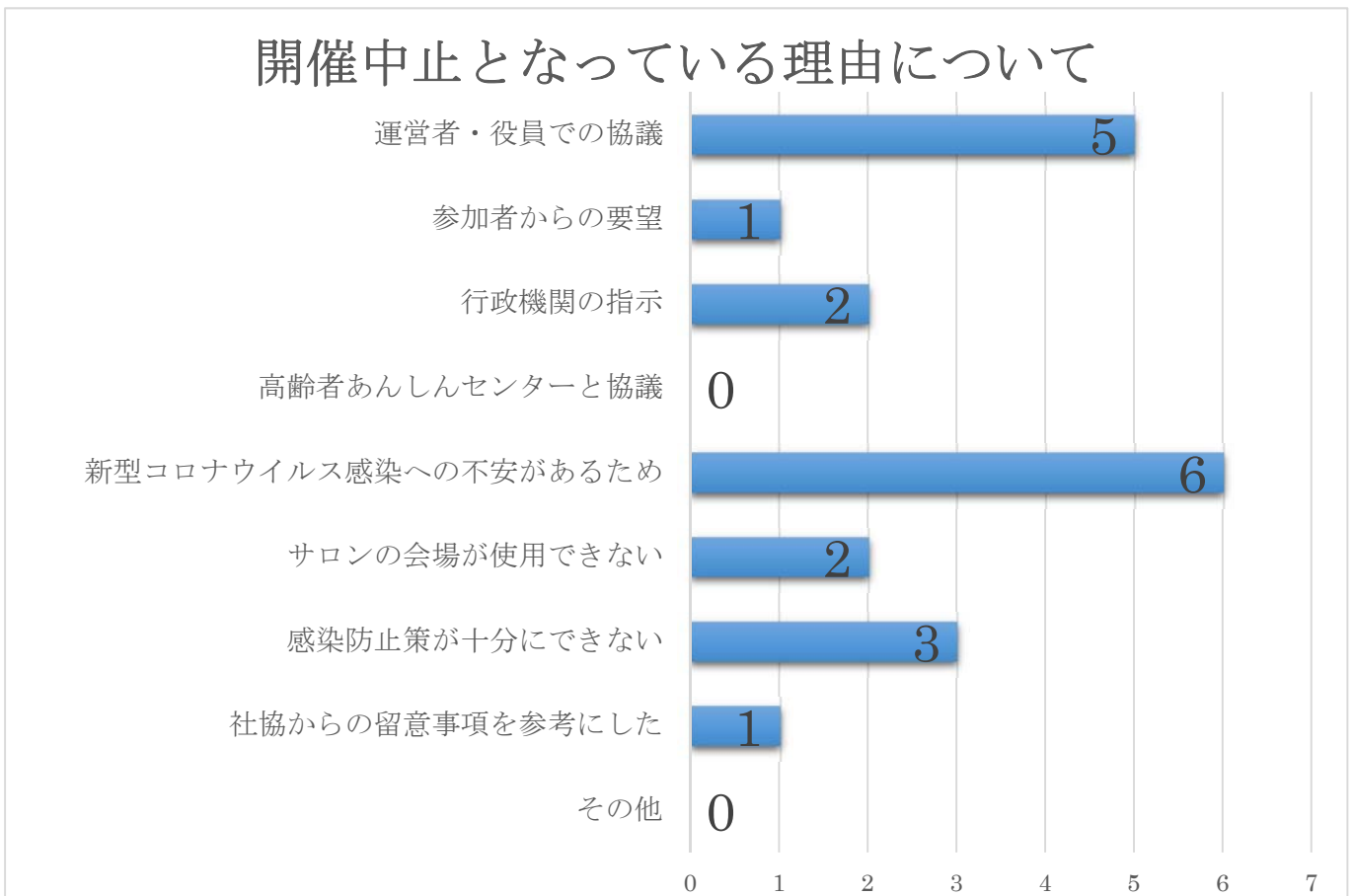
設問4 サロンを中止している、または、一時的に中止したサロンにお聞きします。中止期間にサロン実施に代わる取り組みとして何か活動を行いましたか？



【取り組み事例】

- ・次回開催できるようになったら、どんな内容にしたいか？ライングループで聞く、意見を言う場を作る（SNSを活用）
- ・オンラインでの活動。SNSでのお知らせ。
- ・スマホのLINEでそれぞれの家庭でどのように過ごしているか報告しあった。（義務でなく、それぞれが自主的に。）
- ・グループLINEで悩みを相談しあったり休校中家で子どもたちを楽しめる取り組みについて紹介したり宅配やテイクアウトのお店の情報交換を行った。
- ・子育てサロンにて使用するおもちゃなどのメンテナンス（消毒など）
- ・地区社協・民生と活動の時期などについて相談を続けている。

設問5 現在、開催を中止しているサロンにお聞きします。中止となっている理由について教えてください。（複数回答可）



設問6 現在、サロンを運営するにあたり生じている困りごとなどがありましたら教えてください。また、活動を再開できていないサロンについては、再開するにあたり必要と思われることがありましたら教えてください。(自由記述)

【回答】(一部抜粋)

- ・コロナ禍の中、母子推進委員の皆様の活動が休止され、新生児宅への訪問がなくなり、サロンへお誘いしてもらえない時期がありました。やはり、いろいろな機関の方との連携が大切だと思いました。
- ・親子の集まりなので、3密にならないようにするためにどうしたらいいのか？
- ・サロン会場の換気。0歳～未就園児が対象なので、窓を開けての換気が難しい。(会場の窓に網戸がないため)
- ・親子サロンの再開のアドバイスや注意点を教えて頂きたい。
- ・子育て交流のサロンは地元の人だけが来るのではないので、サロンの中止や再開などの連絡をする手段が公民館に聞いてもらうしかないのが不便だった。
- ・参加者が心配して自粛しているので、開催する意味があるのかとされているところです。
- ・感染予防に関することは十分にできるが、しばらく間があいたことにより「少しでも不安があるなら行かないを選択」となっている。助成金を母親、子どもたちに活かせるように親子で作った作品(材料費はサークルで負担)を自宅で作り、老人ホームにプレゼントして喜んでもらう内容を考えている。
- ・参加人数が増えたらどうするか。
- ・寒さが厳しくなった時の換気をどのようにし、子どもたちがどのように寒さ対策をしたら良いか？
- ・子育てサロンは季節行事の取り組みとして、お料理を親子で実施し、昼食として開催することもあったが、現在は料理またはその場でみんなで食べることができず、季節行事に制限がある。これからは、冬場になるので、なかなか外遊びができず、参加者を増やしたくても、会場が密になり募集にも制限が出てしまう。
- ・サロンがいつでも再開できるようにマスクや消毒液、体温計など必要であると思われる備品は助成金で購入し、準備はしておりますが、活動内容的には感染予防が十分にできるであろうか…という不安がぬぐいきれず、なかなか再開できないところです。
- ・新規の入会者がいないので来年度から人数が不足して活動できない可能性がある。
- ・新規参加者を募集するため、体験日を計画しているが今後の感染状況によっては実施できない可能性がある。
- ・人数制限があるため、規模を縮小して活動しているので、本来月2回程度開催し誰でも参加できていたが、現在(10月から)は、月2回程度開催しているが人数調整の都合で参加できるのは月1回。問い合わせはあるが、新規の会員を入れられなく、会費収入も減っているため、来年度以降もこの状況が続くと会の運営、存続が難しくなってくる。

設問7 サロン活動を行って良かった点、他のサロンに紹介したい事例などがありましたら教えてください。

【回答】（一部抜粋）

- ・活動を行っている中、コラボして活動をしたいとの申し出があり、今年初めてやってみることにしました。うまくいけば持続していくかもしれません。
- ・子どもたちの記憶と笑顔が戻ったと思います。自粛のストレスは母子ともに緩和されました。大事な心の成長に「待った」がかけられないため、可能な限り活動は続けたいと考えております。
- ・地域の子育て親子の交流の場となり、小学校・中学校まで親子の交流ができ良かったと思います。
- ・サロンを一時開催中止している時に、利用者の方から気持ちが沈んでしまうので、少しでも、開催して寄れる場所を作ってほしいというお話を聞きました。開催を再開してみたときに、利用される方の人数はすごく少なかったのですが、「おしゃべりができるだけで心が楽になる」といっている方がいて、本当に良かったと思いました。年度の切り替わりの時期で、今年度の利用者が把握できずにいた頃の事だったのですが、今また同じような状況になったら、呼びかけてオンライン等での開催もできると思います。
- ・お母さんたちは子どもをどこで遊ばせてよいか悩んでいたそうです。「たんぼぼの会がやってよかった」と言う声を沢山聞きました。
- ・9月に沢山の資格を持つ講師の方に来ていただいて、親子体操が楽しんでもらえたようです。その後、困りごと相談もお母さんの心配を解消できたようで嬉しかったです。
- ・休校後、行きしぶりや不登校があった際に、相談できる場があってよかった。また、学校に行けているお子さんであっても、子どもには同じように不安な気持ち、行きたくない気持ちを持っている子もいるので、共有できることがありがたい。
- ・なかなか友人同士でも集まりづらい中、サークルを通してまだ幼稚園などに通っていない子達でも同年代の子とふれあえる機会をもうけることができているのでよかったです。
- ・自粛期間が長かったので子ども達のストレスも心配していたが、活動を開始してとても楽しそうにしている姿を見て、やはり工夫しながらでも開催してよかったと思います。
- ・その場で処理できる新聞紙などで遊ぶだけでも子供達は楽しそうにしているので、距離を取って活動してほしい。
- ・4月～6月まで3か月間サロンを中止にして、私も他の参加して下さっている方、お子さんもなかなか外出できる状況ではなかったので、再開した時は孤独感が消え、不安や日々の心配事などを共感することができました。まだ、心配に思う所がありますが、状況をみながらコロナ対策をとって、活動していけたらなと思います。
- ・家に閉じこもりがちになってしまう母子ですが、外出する機会ができてよかったようです。また、活動しているので会員も増えました。
- ・人数調整が必要なサロンの方は、出欠確認アプリ（らくらく連絡網）は便利です。
- ・コロナ禍の中、外で遊ぶ機会も減ってきたので、体をいっぱい動かすリズム遊びなど子どもたちがのびのびと走り回って喜んでいる姿を見るとよかったなと感じました。

設問8 サロン活動を行っていく中で、参加者の方から寄せられた意見や運営するうえで感じていることなどがありましたら教えてください。

【回答】（一部抜粋）

- ・（参加している方で）夫婦共に東京出身で群馬には知り合いもなかったが、月1回サロンに来て、ママたちや幼児たちと一緒に過ごすのがとても楽しみだし、ありがたい、と言われやっけてよかったと思った。
- ・読み聞かせをした本を借りたい、買いたいので出版社や置いてある図書館を教えてくださいと言われた。本は子供たちの情操を豊かにするので大事にしていきたい。ママたちも楽しみにしていてくれる。
- ・若いメンバーが多いため、触れ合いも大切です。ただし、親子間での触れ合いに留めた活動になっていることは仕方ありませんが、残念です。講師も、お友達同士の接触を避けるなどして下さっています。活動できないよりはずっと良いので、ソーシャルディスタンスや前後の消毒、マスク着用に注意していきたいと思います。
- ・サロンに顔を出してくれる人の数が、コロナ前と比べてかなり減っている。サロンに来られる人は良いが、コロナを心配して家にこもってしまっている若い母親がいるとしたらそれも気になっている。
- ・育児が始まった最初の1年間を楽しく安心して過ごすことができたという意見が多数ありました。また、一部の参加者にあちこちの行事だけ参加を渡り歩く方がいることが気がかりです。なんとなく和やかなムードが壊されるように思います。
- ・今年度の開催は、サロンのボランティアスタッフ（講師等も含め）も手探り状態で、周りの状況等をよく確認しながらでしたが、いつも心の中には「人を集めてよいのだろうか…」という、サロンがサロンとして機能することを否定するような気持ちもあり、何が何だか分からない様な状態でした。来てくださる利用者にも、こうやって開催している事、遊び場、交流の場を提供することに関して、良く質問をしました。すると、「心配なら来ないので、来ているという事は、それなりに考えてもらっていると思う…」という意見もありました。小さい子どもの交流の場は自然と子ども同士が近づくという事が多く起こります。そこを否定しないで、「健康管理、手洗いの励行、換気、手指消毒剤の設置等」を行って少しでもリスクを減らして楽しもうという形を選ばせてもらっています。
- ・9月のイベントで親子体操、困りごと相談を実施したら、お母さん達から「ストレスを少し解消できました」と喜んでもらえました。
- ・1才～2才くらいの男の子3人が走り回っているのを見て、皆でホッとしました。
- ・メンバーさんを増やしていきたいけれど、コロナの影響もあり、増やしているのかと戸惑いがある。
- ・4月以降（こどもが）入園してしまうとメンバーさんが減ってしまう。
- ・小さい子たちへはマスクの着用、また密の回避がなかなか難しい。
- ・自由に出歩くことができない今、子育てでストレスを感じている親御さんも多いと思われます。サロンを開催することで少しでも明るい気持ちになれたり、ストレス発散できる場になれば良いと思っています。

- ・今年度は予定通りのサロンの開催ができず、来年度の補助金の金額が減らされてしまうのではないかと心配です。
- ・お当番をしてくれている方々が年齢の高い方が多いので、その方々に何かあったら…と心配になります。
- ・例年、参加者も増えリピーターも多く、安定した活動をお陰様で行ってきておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために中止となっていることが残念でなりません。中止とわかり、泣きながら帰られていったお子さんやとても残念がられていたお母さん方を見たときは申し訳ないという思いと同時にサロンを楽しみにしてくれている方々がこんなにもいてくれるという運営者としての嬉しい思いもありました。サロン活動に関わってくださっている方々や参加者の皆さんが安心して、そして心から楽しんで活動できる日が早く戻ってきますよう願っております。
- ・コロナ禍で子育て中のお母さん達の心もだいぶ疲れていたり人の目を気にしてしまい外に出られなかったり大変な思いをしている。その中で子ども達もおもいきり声を出せなかったり、体を動かせなかったりと大変な思いをしている姿をみると少しの時間でも人と人とがつながりを共有できる場所をつくっていかないといけないと切に感じる日々です。
- ・コロナ流行後は、新しい参加者を募集することにためらってしまう。参加者の対象が未就園児の親子（0～3才）なので、年々参加者が減ってってしまう。
- ・これからインフルエンザも流行してくる時期なので、冬のサロンの活動を継続していけるか、コロナの状況でサロンを中止すべきか継続できるのかの判断に悩むことが出てくるのではないかと感じています。
- ・子育て中でも子どもをみてもらいながら作業ができるのでよい。初めての参加者でも先生が教えてくれるので、安心して参加できる。子育ての悩みも相談しやすい。子育て中のママ達のリフレッシュの場になっていると思う。
- ・6月再開したとき、利用者はいないかと思いましたが、「待ってました」と2組の親子が来てくれました。外出自粛でストレスをためていたようで子育てサロンの再開を待っていた方もいたのでうれしくなりました。
- ・コロナ予防対策として、検温・風邪症状のある方は欠席、参加前後のアルコール消毒の徹底に協力してもらっているので、安心、安全に開催できているかなと思います。